



平成 25 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社フェヴリナホールディングス
代表者名 代表取締役社長 松浦 正英
(コード番号 3726 東証マザーズ)
問合せ先 管理本部長 堀川 大輔
(TEL. 092-720-5460)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 25 年 9 月期第 1 四半期決算において、特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 11 月 9 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. のれんの減損損失の計上について

当社連結子会社であります株式会社ソフトエナジーホールディングス（以下、同社の子会社と併せて「SEグループ」という）は、事業環境の悪化に伴い、当初予定しておりました事業計画に対して、収益状況が著しく悪化したため、平成 25 年 9 月期第 1 四半期において、のれんの減損損失 455,561 千円を特別損失として計上するものであります。

2. 平成 25 年 9 月期 第 2 四半期連結累計期間（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	1,540	6	0	0	0.00
今回発表予想（B）	1,100	△120	△125	△580	△1016.15
増減額（B－A）	△440	△126	△125	△580	—
増減率（％）	△28.6%	—	—	—	—

3. 平成 25 年 9 月期 通期連結（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	2,880	△85	△100	△100	△175.19
今回発表予想（B）	2,400	△85	△100	△560	△981.11
増減額（B－A）	△480	0	0	△460	—
増減率（％）	△16.7%	—	—	—	—

4. 修正の理由

当社連結子会社でありますS Eグループは、経営統合により平成24年10月1日付で当社連結子会社として、主に充放電検査装置に係るエンジニアリング事業を行っておりますが、領土問題による日中・日韓関係の悪化、中国経済の景気の減速等により、受注金額の大きい中国・韓国向けの量産設備への投資時期が大幅にずれ込んでいること、また、電気自動車（EV）市場におきまして、「販売価格が高いこと、走行距離が短いこと」等の理由から、当初予想よりも市場の伸びがよくないことで、収益状況が著しく悪化いたしました。

今後、クリーンエネルギー需要の拡大とそれに伴う蓄電池市場の拡大は予想しておりますが、当該事業の収益改善には時間を要すると判断したため、会計監査人と協議のもと当第1四半期連結累計期間において、のれんの減損処理を実施いたしました。これは予め厳格な会計処理を実施することで財務体質の健全性を確保するためであり、S Eグループの当社グループ入りは、当社グループの永続的な成長や長期的な成長ビジョン実現のためには必要不可欠なものであると判断しております。

この状況に対応すべく、昨年末に全面的な経営計画の見直しを行い、事業の「選択と集中」を図り、採算性を重視するという観点で大幅な事業整理・リストラ策を講じましたが、売上高の落ち込みをカバーすることができず、売上・利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなり、上記のとおり修正いたします。

- ※ 上記の予想は、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上